

地域別木質チップ市場価格(平成 28 年 10 月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

価格は当会会員企業に対する調査を基にしている

(単位=円/kg:チップ工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破砕) ±5	B ±3	C・D ±1.5	備考：市況の動向等
北海道	6.5～8.5	0.5～3.2					
北東北			☆	☆	☆		
南東北			0.5～7.0	1.0～4.5	-0.9～1.5	売価変動なし。CDチップ(燃料チップ)供給過多の傾向	
北関東			0.2～4.0	1.5～5.0	-0.3～2.0	変化なし	
南関東			☆	5.2～8.0	-0.5～2.1	-0.8～2.0	大きな変化はないが、新たなユーザーができ市況動向を静観している。
中関東			☆	2.0～4.5	0.6～3.0	搬入量は前年並み。出荷は発電ボイラーの緊急停止が多発し、苦戦している。	
東海			11.0～16.8	4.0～11.0	1.5～6.3	0～2.8	
北陸							
近畿			6.0～13.6	2.9～8.0	0～4.3	-1.0～1.0	太陽光パネル設置工事などの造成工事からの伐採材、抜根の入荷が多い。
中国			☆	☆	0.4～1.1	近年の変動なし	
四国							
九州			☆	-1～3.5	0.2～3.4	-1.1～1.7	サーマル用途が値下がり傾向にあり、マテリアル用途は横ばい。熊本震災の影響で販売費の値下げが一部あった。

※チップ区分の欄にある±表示は、集計したデータの中央値を基準としてそれぞれの範囲を定めたもの

※☆：3社未満のもの

※空欄：取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A～Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している

※取引単位はサーマル用がADkg、マテリアル用がBDkg

地域別木質チップ市場価格(平成28年4月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

価格は当会会員企業に対する調査を基にしている

(単位=円/kg:チップ工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破砕) ±5	B ±3	C・D ±1.5	備考：市況の動向等
北海道	7.0～7.5	0.5～3.5					
北東北			☆		☆	近隣にバイオマス発電所の建設が進められており、今後、間伐材等の収集が困難になると予想。公共工事における伐採木の「幹」の部分は有価である。	
南東北				0.5～4.5	1.0～4.5	0～2.2	販売の価格はスライド。ただし、工場在庫増により夏場に向かって数量調整有。バイオマス発電用のチップを集めるための動きが少し増えてきている。
北関東				0.5～5.0	2.8～5.0	-0.3～2.0	変化なし
南関東			☆	6.2～8.0	-0.5～2.1	-1.0～2.0	需給のタイト感も時期によってあるが、表価への影響が出るところまでには至らない。新たなユーザーができ、市況の変化動向を静観している。
中関東				0.6～6.5	2.0～4.5	0.1～2.3	廃材搬入量は昨年よりも上昇傾向にあるが、新規ボイラー稼働がはじまるとチップ価格が上昇する可能性がある。需要量に対し、供給量が不足気味である。
東海			11.1～16.8	4.0～10.0	3.1～7.6	0～2.4	大きな変動なし
北陸							
近畿			6.0～12.8	2.9～8.2	0～4.3	-1.0～1.0	
中国				☆	☆	-1.0～1.1	近年の変動なし
四国						☆	
九州			☆	-1～3.5	-1.3～3.4	-1.1～1.7	販売価格については変動無し。市場の動向についても変動なくチップ余剰状態

※チップ区分の欄にある±表示は、集計したデータの中央値を基準としてそれぞれの範囲を定めたもの

※☆：3社未満のもの

※空欄：取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関係するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A～Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している

※取引単位はサーマル用がADkg、マテリアル用がBDkg

地域別木質チップ市場価格(平成27年 10 月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

価格は当会会員企業に対する調査を基にしている

(単位=円/kg:チップ工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B ±3	C・D ±1.5	備考：市況の動向等
北海道	6.9～8.0	0.5～3.5					
北東北				0～2.0		0～1.1	変化なし
南東北				0.2～4.5	-0.9～4.0	-0.4～2.0	変化なし
北関東				0.2～5.0	4.0～5.0	0～2.0	生木のチップの引き合いが増え、価格も上がってきている。
南関東			☆	4.0～8.0	-0.5～4.5	-1.0～2.0	この一年間は大きな変化はなし。
中関東				2.0～6.5	2.0～4.0	0.1～1.0	廃材搬入量は昨年よりも若干良くなってきている。しかし、来年早々には新規ボイラーが立ち上るため、チップ価格上昇の可能性はある。
東海			13.2～16.8	4.0～11.0	0.5～6.1	0～2.5	マテリアル用については、継続的に値上がり傾向。サーマル用については今後値上がりしていくと思われる。
北陸							
近畿			6.0～12.8	2.9～8.2	0～5.3	-1.0～2.0	変化なし
中国			☆	0.5～6.7	☆	0.5～1.1	
四国							
九州	☆	-1～3.5	-1.3～2.4	-0.6～1.7	売価に関してはほぼ変動なし。FIT ボイラーの新規稼働が多くなっているが、建設系チップへの影響は今の所は出ていない。		

※チップ区分の欄にある±表示は、集計したデータの中央値を基準としてそれぞれの範囲を定めたもの
 ※☆：3社未満のもの
 ※空欄：取引がないもの
 ※Fはバイオマス証明に関係するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した
 ※A～Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している
 ※取引単位はサーマル用がA Dkg、マテリアル用がB Dkg

地域別木質チップ市場価格(平成27年4月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

価格は当会会員企業に対する調査を基にしている

(単位=円/kg:チップ工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B ±3	C・D ±1.5	備考：市況の動向等	
北海道	6.9~8.0	0.5~3.5	☆		☆	☆		
北東北				☆		☆	☆	原料チップ、燃料チップともに木材解体の減少により全体的に入荷量減少傾向。出荷量は横ばい
南東北			☆	0.5~5.0	1.0~4.5	0.2~1.5		
北関東				0.2~4.0	☆	0.1~2.0		燃料チップ入出荷、在庫ともに前月比約 10%減、前年比 20%減
南関東			☆	0.8~7.0	-1.0~4.5	-1.0~2.0		
中関東			☆	0.5~6.5	2.0~4.5	0.1~1.7		6月末より廃材搬入量減少
東海			11.5~16.5	4.0~10.9	2.0~6.3	-0.1~1.9		
北陸								
近畿			6.0~12.1	4.0~6.5	0~3.0	-1.5~1.0		
中国				☆		☆		燃料チップの入荷量前年比約 7%減
四国								
九州			☆	-1~3.5	-1.3~2.4	-0.6~1.7		価格の変動なし。燃料チップは大型伐採工事が入ったため入荷量前年比 10%増前月比 20%増

※チップ区分の欄にある±表示は、集計したデータの中央値を基準としてそれぞれの範囲を定めたもの

※☆：3社未満のもの

※空欄：取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関するチップで、F1は間伐材等由来・F2は一般木質バイオマス材に適合するチップ。未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A~Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している

※取引単位はサーマル用がA Dkg、マテリアル用がB Dkg

平成 26 年 11 月

地域別木質チップ市場価格(平成26年 9 月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

(単位=円/kg : 工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B・C ±3	D ±1.5	備考：市況の動向等
北海道	6.9~8.0	0.5~3.0	☆		☆	☆	
北東北			☆	0.4~4.0	☆	☆	通年動きはない
南東北			☆	1.2~6.0	-1.4~4.0	☆	一部に価格の上下動あるが、通年動きはない
北関東			☆	5.5~7.0	0.1~5.0	☆	輸送コスト高騰により一部値上げの動き
南関東			☆	0.5~6.6	0.1~2.5	-1.0~2.0	輸送コスト高騰により一部値上げの動き
中関東				3.1~5.0	0.1~4.5	0.1~2.5	輸送コスト高騰により一部値上げの動き 一部値下げの動きも
東海			9.8~15.0	4.0~10.6	1.5~5.5	0.5~2.0	
北陸							
近畿			☆	4.5~10.0	0.5~3.7	1~2.4	
中四国				0.5~3.5	☆	☆	
九州			☆	0~7.0	-0.1~4.0	-1.1~1.7	大型ユーザーの停止および、FIT に伴う間伐材の集荷が始まり、チップの余剰感が加速

※当連合会会員企業に対する調査をもとにしたもの

※各欄で求めた中央値を基準として、チップ区分欄の±幅の範囲内における実際価格を表示した

※☆：3社未満のもの

※空欄：取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A~Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している

※取引単位はサーマル用がA D T、マテリアル用がB D T

地域別木質チップ市場価格(平成26年3月時点)
NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

(単位=円/kg)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B・C ±3	D ±1.5	備考：市況の動向等 () 内は異常値として除外した件数
北海道	5.8~7.0	2.5~3.9	☆		☆	☆	
北東北			☆		1.0~3.0	☆	選別された生木チップの受入先の増を期待
南東北			☆	2.6~6.0	-0.6~4.5	☆	産廃系木くずの発生が減少。丸太購入は安定
北関東			☆	0.5~5.0	3.0~5.0	1.0~3.0	
南関東			☆	0.6~4.5	0.2~6.0	0.5~3.2	下げ止まり感。運賃部分の値上げを望む
中関東				1.0~10.0	2.5~5.0	0.1~2.5	下げ止まり感、一部値下がり傾向。品質の指摘が多い
東海			9.8~15.0	4.0~10.5	1.6~5.5	0.5~2.5	
北陸							
近畿			6.0~12.0	4.0~10.5	0.5~5.0	2.0~2.5	横ばい
中四国				0.5~4.0	☆	0.5~3.3	
九州			☆	-1.0~7.0	-0.5~3.0	0.3~2.5	値下がり。産廃系生木の処理先が不足し在庫増。燃料チップは依然厳しい

- ※当連合会会員企業に対する調査をもとにしたもの
- ※各欄で求めた中央値を基準として、チップ区分欄の±幅の範囲内における実際価格を表示した
- ※☆：3社未満のもの
- ※空欄：取引がないもの
- ※Fはバイオマス証明に関するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した
- ※A~Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している
- ※取引単位はサーマル用がADT、マテリアル用がBDT

地域別木質チップ市場価格(平成25年9月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

(単位=円/kg : 工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B・C ±3	D ±1.5	備考：市況の動向等		
北海道	7.5～8.0	0.1～1.0	☆		☆	☆			
北東北						☆			
南東北				☆	1.5～6.5	-2.0～1.0			
北関東				☆	-3.0～1.5	☆	・荷余り感があり下がりぎみ (A破碎=2)		
南関東				☆	0.6～4.5	0.2～4.0	-0.2～2.0	・チップ販売価格は下落傾向が続いている。(A破碎=1)(B・C=1)(D=1)	
中関東					2.0～5.0	0.2～4.0	0.1～2.5	・引き続き値下げの要望がある。・価格のばらつきが感じられる。	
東海					11.8～15.1	6.6～13.5	2.2～8.0	0.5～2.5	・需給バランスの崩れにより価格は下落している。(A破碎=1)
北陸									
近畿					☆	5.2～10.5	2.0～5.0	1.5～2.5	(BC=1)
中四国						-1.0～3.0	☆	☆	・マテリアルは横ばい、サーマルは下がり気味である。(D=1)
九州						0.0～3.7	-2.5～1.7	-0.8～0.5	・販売価格の変動は無いが、規格の厳格化が進んでいる。

※当連合会会員企業に対する調査をもとにしたもの

※各欄で求めた中央値を基準として、チップ区分欄の±幅の範囲内における実際価格を表示した

※☆：3社未満のもの

※空欄：取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関係するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A～Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している

※取引単位はサーマル用がA D T、マテリアル用がB D T